資料１－１

仙台市役所経営プラン（令和４年度～令和８年度）令和７年度実績報告概要

本プランは、令和４年度から令和８年度までを計画期間として、仙台のまちづくりの指針である仙台市基本計画の実現に向けて、仙台市実施計画や各分野の計画を推進する基盤となる計画として策定したものです。

「挑戦と進化を続ける市役所をつくる」を経営理念とし、仙台市役所の目指す姿として以下の５つを掲げるとともに、その実現のための５つの実施の方向性を定め、様々な取組み（実施項目）を推進しています。計画４年目となる令和７年度の主な実績をまとめました。

なお、各実施項目における取組みの状況の詳細については、別冊「仙台市役所経営プラン（令和４年度～令和８年度）進捗管理シート」に掲載しています。

目指す姿	実施の方向性
未来世代に責任ある財政運営	（１）歳入を増やす
想定外の危機をしなやかに乗り越える組織	（２）歳出を見直す
デジタル化によるサービスと組織のアップデート	（３）業務改革を推進する
協働による新たな価値の創発	（４）協働を推進する
働く場として選ばれる組織	（５）組織変革を推進する

1　効果額実績

本プランに掲載している各実施項目については、各年度の取組みの進捗に応じて効果額を把握しており、令和７年度の効果額は、歳入44.4億円、歳出2.1億円の合計**46.5億円**でした。また、本プラン策定時に試算していた計画期間（令和４年度～８年度）の累積効果見込額**122億円**に対し、令和４年度から令和７年度までの累積効果額は**180.2億円**となりました。

※歳入減または歳出増となったものについては、マイナス（△）の効果額として計上しています。

	実施項目	進捗管理シート掲載ページ	算出方法	R7効果額	R4～R7累積効果額	（参考）効果見込額
歳入	（１）-①-02 市税の収入確保	8	各年度の調定額×（各年度の総括収納率－令和2年度総括収納率）	22.6億円	76億円	60億円
	（１）-①-03 国民健康保険料の収入確保	9	各年度の調定額×（各年度の総括収納率－令和2年度総括収納率）	△ 4.0億円	△ 4.0億円	14億円
	（１）-①-04 介護保険料の収入確保	10	各年度の調定額×（各年度の総括収納率－令和2年度総括収納率）	1億円	2.8億円	4億円
	（１）-②-02 市有地等市有財産の処分と有効活用の推進	15	一般土地売払金の実績値	9.4億円	44.4億円	8億円
	（１）-②-03 ふるさと納税制度の活用	16	個人寄附額－事業費	12.8億円	23.9億円	6億円
	（１）-③-02 敬老乗車証制度のあり方の検討	20	見直し後の各年度の利用者負担金収入額実績－見直し前の負担割合を適用した場合の推計	1.9億円	1.9億円	－
	その他の取組みの推進			0.7億円	30.1億円	4億円
			歳入計	44.4億円	175.1億円	96億円
歳出	（２）-①-05 消防車両整備計画に係る費用の見直し	26	消防車両整備計画見直し前の費用－消防車両整備計画見直し後の費用	0.9億円	3.2億円	4億円
	（２）-②-02 市有施設の購入電力量削減の取組みの推進	29	削減購入電力量（令和2年度購入電力量－各年度の購入電力量）×電力単価	0.2億円	△ 0.9億円	20億円
	（２）-②-12 資源化施設のあり方の検討	39	施設を存続させる場合の経費－民間処理施設等においてリサイクルを行う場合の経費	0.5億円	1.1億円	－
	（３）-②-16 収納率向上に向けたBPOの活用による業務体制の効率化	71	人件費削減額－委託費等の諸経費	0.2億円	0.5億円	0.5億円
	（３）-②-17 高額療養費支給事務・第三者行為求償事務の民間委託による業務体制の効率化	72	人件費削減額－委託費等の諸経費	0.1億円	0.4億円	0.5億円
	その他の取組みの推進			0.2億円	0.8億円	1.0億円
			歳出計	2.1億円	5.1億円	26億円
			合計	**46.5億円**	**180.2億円**	**122億円**

備考：各年度実績及びR4～R7累積効果額の数値は小数点第２位以下を四捨五入したもの

2　実施項目の取組状況

実施項目ごとに、各担当課において目標の達成状況による年次評価を行っています。

令和７年度の評価結果は以下のとおりです。

実施の方向性	実施項目数	R7評価			達成率※1（%）
		◎	○	△	
（１）歳入を増やす	15	5	6	4	73.3%
（２）歳出を見直す	18	0	13	5	72.2%
（３）業務改革を推進する	45	9	25	11	75.6%
（４）協働を推進する	19	2	13	4	78.9%
（５）組織変革を推進する	21	4	13	4	81.0%
合計（再掲・R6までの完了項目除く）	118	20	70	28	76.3%
（参考）令和6年度までの完了項目（4項目）を含めた達成率※2					77.0%

＜評価基準＞
◎…目標を上回った・計画より進んでいる
○…目標どおり・計画どおり進んでいる
△…目標を下回った・計画より遅れている

※1 達成率：全体に占める◎と○の合計の割合

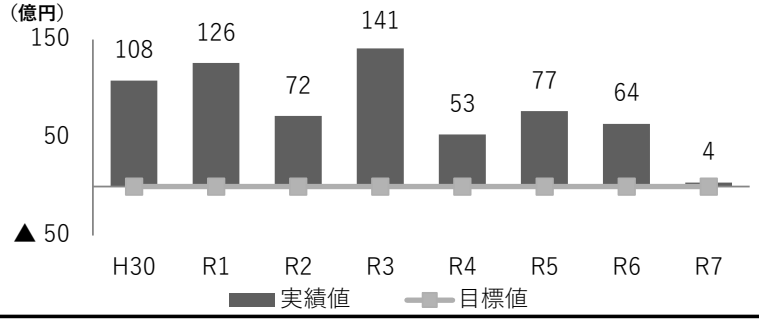
※2 令和6年度までの完了項目は、目標を達成したものとして評価（122項目中、94項目が目標達成）

令和７年度の主な取組状況

R7評価	実施項目	進捗管理シート掲載ページ
◎	（１）-①-02 市税の収入確保	8
◎	（１）-②-03 ふるさと納税制度の活用	16
◎	（３）-②-04 データ利活用推進	58
◎	（５）-②-07 テレワークの活用による柔軟な働き方の推進	122
○	（１）-③-02 敬老乗車証制度のあり方の検討	20
○	（２）-①-01 予算編成を通じた事業の見直し	22
○	（３）-②-R7-01 総務事務の効率化	55
○	（４）-②-01 指定管理者制度の活用（図書館）	98
△	（１）-①-03 国民健康保険料の収入確保	9
△	（１）-①-06 市営住宅使用料の収入確保	12
△	（５）-②-04 女性職員の活躍推進	119

3　主な経営指標の実績

基礎的財政収支※（プライマリーバランス）



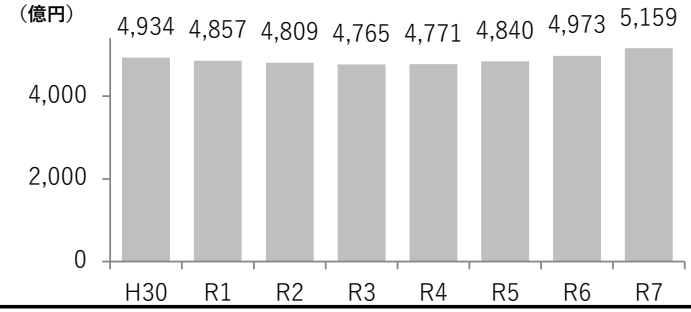
目標：決算で収支均衡・黒字の確保

➡R7決算において黒字を確保

※基礎的財政収支

公債の利払い費や償還額等を除いた歳出と、公債発行収入等を除いた歳入のバランスをみる指標。

市債（通常債※）残高



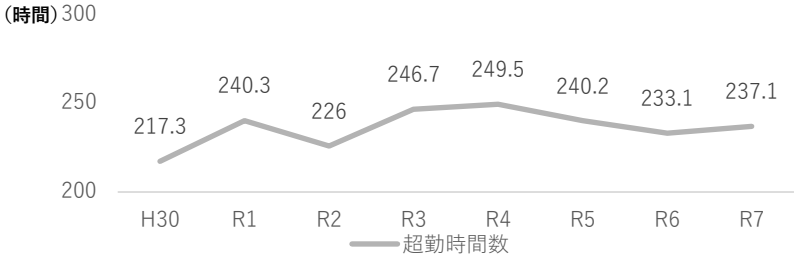
目標：年度末残高の適切な管理

➡前年度より186億円増

※通常債

市債のうち、臨時財政対策債（本来、国が交付すべき地方交付税の不足分を補うために発行する市債であり、後年度に返済のための財源が国から手当てされる。）など特別な市債を除いたもの。

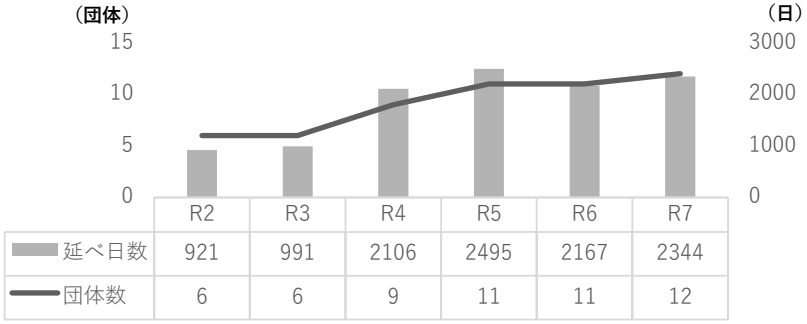
職員１人当たりの年間平均超過勤務時間数



目標：前年度未満

➡前年度より平均4時間増加

公共空間を利活用する団体の数※（延べ日数）



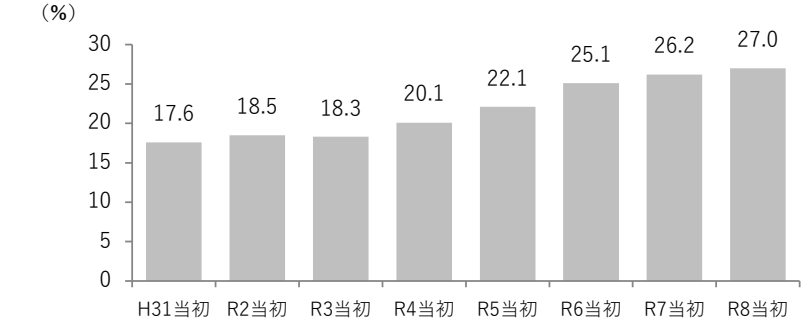
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
延べ日数	921	991	2106	2495	2167	2344
団体数	6	6	9	11	11	12

目標：8団体(1,400日)(令和8年度)

➡前年度より1団体増加し、延べ日数は8％増

※公民連携等の手法により、道路・公園等の公共空間を活用して地域のまちづくり活動を行っている団体の数を集計

管理職に占める女性の割合（市長部局）



目標：前年度以上（令和8年度当初）

➡前年度より0.8％上昇

4　総括

令和7年度においては、118ある実施項目のうち、90（76.3%）の項目について目標どおり又は目標を上回る進捗となりました。

効果額については、市税の収入確保による22.6億円、ふるさと納税制度の活用による12.8億円の歳入増加などが寄与し、計画を上回る成果がありました。また、本市の財政や組織運営の現状を表す経営指標については、概ね目標に向けて順調に推移している一方、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字が縮小した他、職員１人当たりの年間平均超過勤務時間数が高止まりの状態にあるなど、より一層、事務事業の見直しなどによる業務効率化に取り組んでいくことが必要です。

本プランの最終年度となる令和8年度においても、プランに基づく取組みを着実に推進するとともに、この間の成果と課題を次期計画期間における取組みにつなげてまいります。